事業番号 0085

											尹未倒7			0080
					平成25	年	行政事	業レ	ビューシー	-		文)	部科	学省)
	事業名		学校保健課題	解決支	泛援事業		担当	部局庁	スポ	ーツ・	青少年局		作	成責任者
	業開始・ (予定)年度		平成244	拝度∙未	定		担当	課室	学村	学校健康教育課				建康教育課長 :路 正浩
£	計区分	一般会計			政策・	施策名	確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づく Ⅱ-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		学校保健安全法第10条					関係する通知	る計画、 日等					員会)	
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)		基づく具体的			す応するため、地 を行うとともに、・						ど課題解決	に向けた	計画の)策定、それに
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		地域の医療機関の職員を学校に派遣して、児童生徒のアレルギー疾患、心の問題などの現代的健康問題の実情を分析する その解決のための計画策定への助言や児童生徒、保護者及び職員への指導を行うため、都道府県・政令指定都市教育委員会 委託する。また、各都道府県・政令指定都市教育委員会の取組の成果を共有したり改善策を検討したりするための全国協議会 る。						委員会に事業を						
3	尾施方法	■直接実施	■委託	請負	口補助		□負担		交付 □	貸付	ロそ	の他		
				22年度			23年度		24年度		25年度		26年度要求	
			当初予算						40.3		36.1		32.4	
_	Advisor		予算 補正予算の状						△7.1					
	・ 算額・ 執行額	況	繰越し等						_					
(単	位:百万円)		計						33.2		36.1		32.4	
		執行額							15.2					
		執行率(%)							45.8%					
成果	目標及び成	成果指標				単位		22年度		23年度	24年	度	目標値 (年度)	
	果実績	健康課題を把握し、児童生徒の健康増進に資する を目標とした事業であり、定量的な数値目標等を見 ことは困難。				成果実績	_	_		_	_		_	
	·/[///Д/				Eめる	達成度	%	_		_		-		
		活動指標					単位	22年度		23年度	24年	度	25年度活動見込	
	指標及び活 動実績	事業を実施している都道府県等の数					活動実績		_		_	34	ļ	_
(ア	ウトプット)						(当初見 込み)	箇所	(—)		(—)	(67	')	(67)
単位当たり コスト		444,016円(円/箇所数)				算出根拠 単位当たりコスト=15,096,554円(支出額)/事業実施箇所数(34)								
	費	目	25年度当初	度当初予算 26年度要求			主な増減理由							
平成	初等中等教育等振興事業委託費		費 35.5	35.5百万円 31.8百万F		円								
2 5	その他		0.6百万円 0.6百万円		円									
2														
6														
度														
算														
内訳														
		計	36.17	5万円	32.4百万	ıЩ								

	事業所管部局による点検								
	項目	評価	評価に関する説明						
国必費	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	0	児童生徒の現代的健康課題に対応するため、健康に 関する課題を単に個人的な課題とせず、学校、家庭、						
必要 要投 性入	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	地域が連携して、社会全体で子どもの健康づくりに取り 組んでいくことが重要であり、国が各地域における具体						
性の	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	_	的な取組を支援し、その結果等について全国的な発信 を行う必要がある。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保						
事	受益者との負担関係は妥当であるか。	0	した上で公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。						
業の	単位当たりコストの水準は妥当か。	0	不用率が大きくなっている理由は、本事業は平成24年 皮新規事業であり、事業執行に向けた準備期間が短						
効率性	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	0	く、多くの都道府県等が応募を断念したこと、また、全国 への事業の周知が不十分であったことにより、応募件						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	数が見込みを下回った結果、契約価格が当初の予定を 下回ったためである。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	Δ	下回うだだめである。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果 的あるいは低コストで実施できているか。	0	事業実施都道府県等数は当初見込みを下回っている が、各都道府県等において学校医、医療関係者、行政						
の有	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	Δ	関係者等から成る協議会を開催し、地域の実情を踏ま えた事業を実施しており、実効性の高い事業となってい						
効性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_	る。						
重	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)								
複排	事業番号 類似事業名 所管府省‧部局名	•							
除									
	・予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類によ	12高477ナンも	かたがたわれているが歴到している						
	- 「子の利力が心に依るは使力はについては、尹未元」取り音寺の証拠音規によっ - 東米の名質なし私にないた難が日これでした。羽を中の名質は増、東米中家につ								

・事業の予算額と執行額に乖離が見られるため、翌年度の予算規模・事業内容については、執行状況等を踏まえ、より効率的・効果的なものとなるよう、十分に検討する必要がある。

外部有識者の所見

本事業においては、児童生徒のアレルギー疾患、心の問題などの現代的健康課題について、各都道府県における地域の実情を分析・周知することが期 待される。しかしながら、多額の不用額が生じていることから、その要因を分析し、事業内容の見直しを検討すべきである。

行政事業レビュー推進チームの所見

・業全体の

抜

本

的

1. 事業評価の観点:本事業は、児童生徒の現代的健康課題に対応するため、地域の実情を踏まえた医療機関等との連携など課題解決に 向けた計画の策定、それに基づく具体的な取組に対して支援を行うとともに、その結果等について全国的な発信を行う事業であり、予算執行 の観点から検証を行った。

2. 所 見:当該事業は、平成24年度決算において多額の不用額が生じていることから、不用額が生じた要因を分析したうえで、平成26 年度概算要求に予算の大幅な縮減を反映すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減

本事業については、支出先の選定に当たって、十分な公告期間を確保した上で公募を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているが、本事業は平成24年度新規事業であり、事業執行に向けた準備期間が短く、多くの都道府県等が応募を断念したこと、また、全国への事業の周知が不十分であったことにより、応募件数が見込みを下回った結果、契約価格が当初の予定を下回ったものと分析している。しかし、児童虐待などのメンタルヘルス、アレルギー疾患、性の問題行動や薬物乱用など、子供の心身の健康に大きな影響を与える喫緊の課題が顕在化しているため、全国に対し本事業の主旨の十分な周知を行った上で、平成26年度以降も同様の取組を継続して実施するものとし、また平成24年度決算で生じた不用額を踏まえ、概算要求に▲4百万円反映した。

借去

- ○学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/169/f068_061001.pdf
- ○「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体として取組を進めるための方策について」 (平成20年1月17日 中央教育審議会答申)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2009/01/14/001_4.pdf

	関連する過去のレビューシートの事業番号									
<u> </u>	平成22年	ı	平成23年	新24-0045	平成24年	新24-0035				

文部科学省 15.2百万円 職員旅費、教職員研修費 0. 1百万円を含む

現代的健康問題の解決のための計画策定への助言や児童生徒、保護者及び職員への指導を行うため、都道府県・政令指定都

【公募·委託】

A. 教育委員会(全31自治体) 13. 4百万円 ※再委託なし B. 教育委員会(3自治体) 1. 7百万円 ※再委託あり

地域の医療機関の職員を学校に派遣して、児童生徒のアレルギー疾患、心の問題などの現代的健康問題の実情を分析するとともに、その解決のための計画策定への助言や児童生徒、保護者及び職員への指導を行う。

【公募·再委託】

C. 教育委員会(全4自治体) 1. 2百万円

学校保健課題解決支援事業の実施

資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万 円)

		A.福島県教育委員会			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	印刷製本費	報告書作成	1.2			(117)
	諸謝金	専門家派遣謝金等	0.6			
	その他	専門家派遣旅費、会場借料等	0.3			
	計		2.1	計		0.0
		B.愛知県教育委員会	金額		F.	金額
	費目	使途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)
		※1件百万円未満のため省略				
費目・使途						
(「資金の流れ」においてブロックご						
とに最大の金額 が支出されている						
者について記載する。費目と使途						
の双方で実情が分かるように記						
載)	計		0.0	計		0
		C.阿久比町教育委員会			G.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
		※1件百万円未満のため省略	(87)17			(8/3/1)
	_			_		
	計		0.0	計		0.0
		D.	金額		Н.	金額
	費目	使途	(百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	計		0.0	計		0

支出先上位10者リスト A. 学校保健課題解決支援事業

	支 出 先	業務概要	支 出 額(百万円)	入札者数	落札率
1	福島県教育委員会	「肥満」、「う歯」、「近視」、「心(性)」について、事例研修会や講演会を通して、支援体制の整備を図った。	2.1	企画競争	
2	北海道教育委員会	道内の学校に「学校保健支援チーム員」を派遣し、児童生徒の心の健康 問題への対応に関する指導・助言を行い、課題解決を促進した。	0.9	企画競争	-
3	滋賀県教育委員会	学校におけるアレルギー疾患に対する取組として、「学校生活管理指導表」及び「活用のしおり」を作成し、普及のためホームページに掲載した。	0.6	企画競争	_
4	山梨県教育委員会	「子供の生活習慣改善支援チーム」の取組をより具体的に啓発するため、 学校保健課題解決シンポジウムを開催した。	0.6	企画競争	_
5	大阪府教育委員会	「性に関する健康課題」、「心の健康課題」の解決に向けて、専門医師を交えた協議及び講義・研修会を行った。	0.6	企画競争	_
6	三重県教育委員会	重点健康課題である①メンタルヘルス、②歯と口の健康づくり、③性に関する指導について、各地域に支援チームを組織・派遣した。	0.6	企画競争	_
7	徳島県教育委員会	小児肥満、生活習慣病予防に関する協議やう歯・歯周病対策に関する協議	0.5	企画競争	_
8	福岡県教育委員会	非行や自殺などの課題に関して議論し、共通認識を持ちながら、支援体制を構築できるよう研修会を開催した。	0.5	企画競争	_
9	熊本県教育委員会	「学校メンタルヘルスの早期発見と早期対応」についての講演会を開き、 児童生徒のメンタルヘルスの問題に対する教職員の対応力向上を図っ た。	0.5	企画競争	_
10	秋田県教育委員会	「望ましい生活習慣の確立」というテーマで小児科医による研修会や実践 発表会を開催した。	0.5	企画競争	_

B. 学校保健課題解決支援事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	愛知県教育委員会	生活習慣病予防啓発資料の配布や学校保健シンポジウムでパネル展示を	0.8	企画競争	_
2		不登校・保健室登校の児童生徒の対応や発達障害等に対する指導・対応 について、養護教諭に対する研修会を開催した。	0.5	企画競争	_
3	千葉県教育委員会	生活習慣病予防について、支援チームの組織体制づくり、課題解決に向けた取組を行った。	0.4	企画競争	_

C. 学校保健課題解決支援事業

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1		子育てに関わる様々な立場の人間で支援チームを組織し、子供たちに睡眠の大切さを啓発する取組を行った。	0.7	企画競争	_